

外部評価 実施日	令和6年 3月 13日
-------------	-------------

(別紙2-4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	代表者	大西 弘文	法人・ 事業所の 特徴	博愛福祉会として、市内3か所の小規模多機能型居宅介護事業所をはじめ、看護小規模多機能居宅介護事業所、認知症対応型デイサービス、デイサービス、訪問看護事業所、定期巡回随時対応型サービス事業所、高齢者住宅、居宅介護支援事業所等を展開し、切れ目のないサービス提供を行っています。また、利用者・家族の要望に柔軟に対応するとともに、残存機能の維持向上・自立支援に努め、在宅生活が継続できるよう取り組んでいます。
事業所名	ゆとり庵 尾上	管理者	片島 真弓		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	5 人	人	人	1 人	人	2 人	人	9 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者が何がしたいのかの把握を行い、目標設定や自己実現の尊重に取り組む。また、スキルアップ等を目指して研修の参加増加に取り組んでいく。	各職員が個々に関わり、日々の会話の中からお利用者様のしたいこと等の情報収集は行っている。しかし、全員での共有、実施に関しては課題が残る。研修参加に関しては、外部研修参加が少なかった。	ミーティングやカンファレンス時に共有してはどうか。	法人内外の研修開催の情報を共有し参加増を目指し、職員のスキルアップに繋げる。
B. 事業所のしつらえ・環境	明るい環境づくりを心がけ、来訪しやすい事業所づくりを目指す。また、ご利用者にも安心して過ごしていただける環境づくりに取り組む。	来訪しやすい事業所作り、安心して過ごしていただけるよう、ご利用者、職員の意見を聞きながら環境づくりに取り組んだ。	地域に向けて、イベント等の案内をしてはどうか。	来訪しやすい事業所作りを継続し、安心して過ごしていただける環境づくりに取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	会議や地域のイベント等に引き続き参加を行いながら、出来る限り多くの職員に地域との関わりをもってもらえるよう取り組む。	会議や、地域イベントには積極的に参加できている。しかし、参加者が限定されている。	認知症カフェの開催場所変更の検討、定期的に町内で回覧等してはどうか。	会議や地域イベント等、職員が関わりを多く持てるよう取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	やりたいことや行きたい場所の把握を行い、地域資源の活用や外出ができ、楽しみや喜びを持っていただけるよう取り組む。	個々での把握はできており、一部ご利用者様には地域資源を活用し外出支援が行えた。しかし、全体を通しては実施できていない部分が多く、課題が残った。	ミーティングやカンファレンス時に共有し、計画をたててみてはどうか。	個々に把握した情報を共有し、地域資源の活用や外出活動を実施し、楽しみや喜びを持っていただけるよう取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	引き続き情報共有を行いながら、事業所見学の実施等状況を見ながら取り組みを行う。	前年に引き続き、地域の場所を借りて運営推進会議の開催し、情報共有を行った。感染症の兼ね合いで事業所見学の実施には至らなかった。	事業所を見ることができず、施設環境を知ることができなかった。	事業所の見学や会議等、地域の方、関係者、ご家族様等にお知らせし、風通しのよい事業所を目指す。
F. 事業所の防災・災害対策	防災・災害対策や訓練の共有を行い、協力体制の構築を図れる取り組みを行う。	定期的な防災・消防訓練は実施できている。BCPの見直しや、併設施設との合同訓練も行っている。地域活動への参加はあるものの、協力体制への構築には至らなかった。	地域、町内に活動を伝え、参加呼びかけはどうか。	防災・災害対策や訓練を実施し、協力体制への構築を図れる取り組みを行う。